

事業所における自己評価結果(公表)

【児童発達支援】

公表: 2022年 2月28日

事業所名: 児童発達支援事業所とことこ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	2	職員の配置数は適切であるか	○		・職員が手薄な場合は、療育の内容を考慮する。	・送迎にスタッフが2人必要なため、時間的にギリギリの人数になる時がある。 →職員の増員を図り、改善していく。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか		○		・登園準備をする部屋と遊ぶ部屋の区別が出来ていない。 →限られたスペースであり、工夫できる点を考えていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		・活動後の消毒の実施。 ・集中して取り組めるような空間づくりを実施。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○	・朝のミーティング等で意見を出し合い、問題が生じた時点で情報の共有に努めている。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者の意向をより組み込めるように連携を図っていく。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		・整備が整っていない。 →今後、設置していき、業務改善に努めていきたい。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・zoomやオンデマンド配信の研修など可能な限り出席している。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			分析がまだ不十分であり、各専門家の意見も取り入れて実施していく。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			・ガイドライン自体がわかりにくく、保護者への説明の際も、説明は行いが、保護者も理解が難しい内容だと思う。 →ガイドラインをわかりやすく説明できるように共有、指導していく。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			日々の振り返りを実施し、支援内容を構築している。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		・翌月のプログラムを全員で確認している。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		・季節の行事等をプログラムに取り入れ、より幅広い療育活動ができるようにしている。	・同じことを繰り返すことで変化に気づけることもあるため、基本をもとに発展させた内容を考えていきたい。 →同じ活動でも、そこでする内容の工夫を行っていく。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか				
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		・朝のミーティングにて確認している。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		・午前、午後とも振り返りを実施している。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		・反省の中で検証実施している。	
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○				

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		必要なケースについては、関係機関と共通理解ができる様にしている。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				対象児がいない。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				対象児がいない。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		○		
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		・協議会が開催され、参加する。	・研修を受ける部屋、人員不足もあり、今後、対応を考えていく。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		・交流の場がない →再開されれば、積極的に参加していく。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○	・小学生の広報誌の活動の取材などを受けている。	機会があれば、積極的に参加する。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		・連絡帳に記載している。定期的な面談を行っている。	
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○		・保護者に療育の意義が伝わらない。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		・質問があれば、その都度、個別に対応している。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか		○		・保護者の困りごとを感じられず、支援内容の意義を理解してもらえない。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		・個別に対応が難しい事例に関しては、スーパーバイザーに繋ぎ、対応している。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		・幼保から直接送迎されての療育なので、横のつながりはほとんどない。 →コロナ状況により、週末に親子イベントが開催できたらと考えております。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		・毎月会報を発行している。 ・メールにてやり取りしている。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		・ハロフィンでの交流、季節の行事での見学を実施している。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		・定期的な防災訓練を実施している。	・曜日固定の療育のため、全員の防災訓練の実施が難しい。
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		・契約時に確認している。	
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		・契約時に確認している。	
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		・日々、反省する場があるため、事例を共有している。	
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		・毎年、研修を受講している。	
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか				現在、身体拘束の対象児がいない。

- この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。
- 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。(該当する方に○を記入)